

第8回  
ジュラ・キシユ国際ピアノコンクール

The 8th Gyula Kiss International Piano Competition

募集要項

主催  
一般社団法人 東京国際芸術協会

◆趣 旨：本コンクールは、これからもっとピアノを勉強したいという小学生から社会人を対象に有能な演奏家を発掘するとともに、豊かな表現力や可能性を引き出し、将来国際的に活躍できる音楽家としてはばたけるようその学習機会を提供し、もって音楽文化の発展、向上に寄与することを目的とします。

◆実施部門：小学生部門、小学生高学年部門、中学生部門、高校生部門、大学生部門、一般部門、愛好者部門

◆開催期日・会場：

大阪予選 【全部門】2017年1月7日(土) 15:00頃～

豊中市アクア文化ホール・ホール

大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号(阪急電鉄宝塚線曾根駅徒歩3分)

沖縄予選 【全部門】2017年3月5日(日) 13:00頃～

浦添市てだこホール・練習室1

沖縄県浦添市仲間1-9-3(那覇バス・琉球バス美術館前、大平、浅野浦すぐ)

東京予選 【全部門】2017年3月23日(木) 14:30頃～

日暮里サニーホール・コンサートサロン

東京都荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4階(JR山手線日暮里駅下車徒歩1分)

本 選 【全部門】2017年3月24日(金) 10:00頃～

サンパール荒川・小ホール

東京都荒川区荒川1-1-1 (都電荒川線 荒川区役所前駅下車徒歩3分)

◆審査員：

ジュラ・キシユ (審査委員長/ハンガリー国立リスト音楽院教授、ピアニスト)

後藤・イシュトヴァン・宏一 (ピアニスト、横浜国際アーティスト教育協会会長)

糸数ひとみ (沖縄県立芸術大学教授)

市川雅己 (洗足学園音楽大学講師、東京家政大学講師、洗足こども短期大学講師 他)

正木文恵 (目白大学講師、日本グリーン協会理事)

藤原茂子 (ヤマハ音楽教室講師)

片山孝調 (東京国際芸術協会会長)

◆参加資格及び部門：

小学生部門 小学校1年生～3年生

小学生高学年部門 小学校4年生～6年生

中学生部門 中学1年生～3年生

高校生部門 高校1年生～3年生

大学生部門 大学1年生～4年生(短大生、短大専攻科も入ります)

一般部門 コンクール開催当日で35歳まで

愛好者部門 18歳以上で下記の参加資格を満たしている者

※参加資格 音楽高等学校、音楽大学在学学生及び各種音楽団体所属者もしくは、音楽を専門として仕事をしている方は含まれません。

※ このコンクールは各部門ともにソロの部門のみとなっています。

※ 中学・高校の部は浪人生を含みます。申込書の学年欄に中学卒、又は高校卒と記入)

※ 大学生部門は短期大学、短期大学専攻科、特修科、専門学校等を含みます。

※ 一般部門は大学院、研究科、専攻科、ディプロマ等を含みます。一般部門の方の年齢制限が35歳までとなります。

※ 短大で専攻科の方は大学生部門でお申込ください。その際、学校名欄には短大専攻科と記入してください。

◆予選 課題曲：

小学生部門 6分以内の自由曲1曲(予選本選同一曲可)

小学生高学年部門 8分以内の自由曲1曲(予選本選同一曲可)

中学生部門 10分以内の自由曲1曲(予選本選同一曲可)

高校生部門 12分以内の自由曲1曲(予選本選同一曲可)

大学生部門

F・ショパンエチュード (op10-3を除く)、F・リスト、ラフマニノフ、ドビュッシー、スク  
リャービンの各エチュードのうち任意の1曲及び、下記のうちaまたはbを選択

a：J・S・バッハ 平均律クラヴィア曲集から任意のプレリュードとフーガ

b：IMPROMTUS FOR JULIUS AND JAPAN 2楽章(M・ホローシュ氏、本コンクール委嘱作品)

一般部門

F・ショパンエチュード (op10-3を除く)、F・リスト、ラフマニノフ、ドビュッシー、スク  
リャービンの各エチュードのうち任意の1曲及び、下記のうちaまたはbを選択

a：J・S・バッハ 平均律クラヴィア曲集から任意のプレリュードとフーガ

b：IMPROMTUS FOR JULIUS AND JAPAN 2楽章(M・ホローシュ氏、本コンクール委嘱作品)

愛好者部門 8分以内の自由曲1曲

◆本選 課題曲：

小学生部門 6分以内の自由曲1曲

小学生高学年部門 8分以内の自由曲1曲

中学生部門 10分以内の自由曲1曲

高校生部門 12分以内の自由曲1曲

大学生部門

15分以内のバロック期から近現代期(1945年まで)の自由曲1曲

一般部門

15分以内のバロック期から近現代期(1945年まで)の自由曲1曲

愛好者部門 10分以内の自由曲1曲

<注>

- ・楽章のカットは認めます。
- ・2台ピアノの使用はできません。
- ・参加者が多数の場合、演奏途中カットのベルが鳴ることがありますが、審査得点に影響しません。その場合、複数曲提出されても必ずしも全てを演奏できるとは限りません。また、曲の演奏順序は申込用紙に書いた順とします。
- ・原則として一曲ですが、ソナタからの複数の楽章、組曲からの抜粋、同一曲集からの複数曲の選択は可とします。  
例：シューマン：クライスレリアーナより複数曲、ラフマニノフ：楽興の時より複数曲  
ショパン：エチュードより複数曲(Op. 10、25の組み合わせも可)等、曲の演奏順序は、申込用紙に書いた順とします。
- ・各部門を重複して受ける事は不可とします。
- ・愛好者部門の予選、本選の自由曲は同一曲でもかまいません。
- ・予選、本選において IMPROMTUS FOR JULIUS AND JAPAN を弾く者は楽譜を見て演奏することが可能です。

- ◆**申込方法**： 所定の参加申込書に必要事項を記入し、申込期日までに郵送し、同時に参加料を現金書留かまたは下記口座にお振込ください。※現金書留の場合は申込用紙も一緒に同封してください。  
 三菱東京UFJ銀行 日暮里支店  
 普通預金 口座番号 0117538 名義 一般社団法人 東京国際芸術協会

◆**参加料**：

部門	予 選	本 選
小学生	8,000	11,000
小学生高学年	8,000	12,000
中学生	10,000	13,000
高校生	10,000	14,000
大学生	12,000	16,000
一般	12,000	16,000
愛好者	12,000	15,000

◆**予選通過者**：

大阪予選通過者：2月1日(月)までに本選参加料を現金書留または上記口座にお振込ください。  
 沖縄予選通過者：3月10日(金)までに本選参加料を現金書留または上記口座にお振込ください。  
 東京予選通過者：本選当日ホール受付にて本選参加料をお支払いください。

◆**申込受付期間**：

大阪予選 2016年10月3日(月)～2016年12月15日(木)まで(必着)  
 沖縄予選 2016年10月3日(月)～2017年2月16日(木)まで(必着)  
 東京予選 2016年10月3日(月)～2017年2月28日(火)まで(必着)

◆**審査結果発表・表彰**：

予選の結果：選考当日会場にて発表。  
 本選の結果：3月24日(金)コンクール終了後、本選会場にて発表し表彰します。

◆**入賞者披露演奏会**：

2017年7月17日(月祝)日暮里サニーホールコンサートサロンにて行います。

◆**賞・表彰**：

各部門ごとに表彰します。

- 第1位 表彰状、トロフィー、記念品、賞金  
 ジュラ・キシユサマーセミナーインハンガリー受講参加資格及び受講費免除  
 一般・・・ 50,000円 大学生・・・ 30,000円  
 高校生・・・ 20,000円 中学生・・・ 10,000円  
 小学生高学年・・・ 10,000円 小学生・・・ 10,000円
- 第2位 表彰状、トロフィー、記念品、  
 ジュラ・キシユサマーセミナーインハンガリー受講参加資格及び受講費免除
- 第3位 表彰状、トロフィー、記念品、  
 ジュラ・キシユサマーセミナーインハンガリー受講参加資格及び受講費免除
- 審査員賞 表彰状、楯、記念品(若干名)  
 奨励賞、入選 表彰状、記念品(若干名)
- 愛好者部門  
 第1位～第3位 表彰状、メダル、記念品  
 審査員賞 表彰状、楯、記念品  
 奨励賞、入選 表彰状、記念品

※該当事無しや順位が重複する場合がございます。また、順位が重複した場合賞金は折半となります。

## ◆入賞者:

- ①入賞者には受賞記念コンサートやリサイタル等、演奏会の推薦をおこないます。
- ②入賞者の方々にはジュラ・キシュサマーセミナーインハンガリーマスタークラスが受講できるほか、現地ブダペストで行われる修了演奏会へ出演できます。
- ③ハンガリーマスタークラス、ウィーン国立音楽大学マスタークラス、ロシア国立モスクワ音楽院マスタークラス、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学教授マスタークラス、スイス国立チューリッヒ芸術大学教授によるマスタークラス、ヨーロッパ国際マスタークラスへの学費免除推薦を行います。
- ④協会会員として2018年3月末日まで無料登録できます。
- ⑤東京にて東京国際芸術協会管弦楽団と協奏曲をソリストとして共演することができます。(出演に際しては参加費の負担があります。)

## ◆その他・留意事項:

- ・申込み後の辞退については参加料の返却は出来ません。
- ・参加に要する交通費・宿泊費等の諸費用は、すべて参加者の負担です。
- ・大阪、東京予選は非公開、沖縄予選、本選は一般公開されます。
- ・やむを得ず棄権することが決まった場合は、すみやかに事務局に連絡してください。

## ◆申込み・問い合わせ:

〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301  
一般社団法人 東京国際芸術協会内(コンクール実行委員会)  
TEL:03-6806-7108 FAX:03-3806-8555 <http://www.tiaa-jp.com>



### 審査委員長 ジュラ・キシュ教授 プロフィール

ハンガリー政府より、フランツ・リスト賞を授与された、ピアニスト・ジュラ・キシュは、1944年ハンガリー ブダペスト生まれ。6歳からプロとして演奏活動に入った天才である。ジュラ・キシュは、ベートーヴェン、ツェルニー、リスト、シロティ、マゴロフ、ジュラ・キシュという系譜を辿っている。ジュラ・キシュは1966年、ハンガリーのリスト・バルトーク国際コンペティションに入賞し脚光を浴びる。また、ハンガリーテレビ・ラジオコンクールで1位を得る。1967年、1968年、イタリアのタオミナに於けるCISM国際ピアノコンクールに於いて、1位、グランプリを受賞する。この年リスボンにて、国際ヤングピアニストフェデレーションの招待演奏を行い大成功を収めた。その後、ジュラ・キシュはハンガリーの最も期待するピアニストとして、ハンガリーの主要オーケストラと共演し、テレビ、ラジオ、そして、レコーディングと精力的に活動を始め、現在も進行中である。1970年前半は、オーストリア、チェコ(プラハの春)、イタリア、フランス、ギリシア、(アテネフェスティバル)、スペイン(グラナドフェスティバル)、西ドイツ等の国々においてコンサート活動をする。1973年、ハンガリー国立交響楽団のソリストとして、カナダ、アメリカ、(カーネギーホールのリサイタルを含む)で演奏を行う。1974年、オーストラリア・オペラハウス、シンガポール、日本においてコンサートツアーを行う。1975年から1985年は、客演奏者として、ソビエト(現ロシア)、ブルガリア、ポーランド、ルーマニア、東ドイツ、イギリス、オランダ、etc...で演奏を行う。1985年から1988年は、武蔵野音楽大学において客員教授として来日する。1989年から現在において、各国の主要オーケストラでソリストとして演奏を行っている。1995年リリースされたバルトーク集のCDは、アメリカで好評を得る。1998年、一晩でベートーヴェンのピアノコンチェルト3番、4番、また、二晩連続でベートーヴェン、チャイコフスキーのピアノコンチェルトを演奏し、リスト音楽院の大ホールでリサイタルを行う等、エネルギッシュな活動を行っている。1999年3月から2003年3月まで韓国のYeungnam Universityのピアノ科客員教授として就任。2000年2月、東京オペラシティコンサートホールと沖縄市民会館大ホールにおいてソロリサイタル『癒しの原点』を行い、好評を博す。同月、横浜にてCIALミレニアムコンサート2000、に客演奏者として出演。8月に行われた、サマーセミナーin湘南国際村の特別講師として来日。同年12月、東京、浜離宮朝日ホールにおいて、ジュラ・キシュ&後藤宏一ダブルリサイタル『ロマンティックなタベ』を行う。2000年、フンガロトン社より『Beethoven-Liszt Symphonies Nos.1-9 Piano Version』がリリースされ、ベートーヴェン作曲リスト編曲、交響曲5番、7番を演奏している。2002年、同社より、3枚組CD『FIFTY YEARS OF HUNGAROTON』がリリースされ、シブラ、アニー・フィッシャーを筆頭に、Disk2でリストの「忘れられたワルツ」を演奏している。2007年から2009年も韓国のYeungnam Universityのピアノ科客員教授として迎えられる。(他にも、アンドラーシュ・シフ、ゾルターン・コチシュ、ディジュ・ランキ、イエネ・ヤンドー等が収録されている。)リスト音楽院での師はパウル・カドシャ、イタリア給費留学時代の師はニキタ・マゴロフである。現在、Leo Weiner Conservatory of MusicとWest Hungarian University主任教授、ハンガリー国立リスト音楽院でも教鞭をとっている。ソリスト、室内楽三重奏と演奏も精力的におこなっている。第1回からジュラ・キシュ国際ピアノコンクール審査委員長を務める。



### マーティー・ホローシュ プロフィール

#### 第8回ジュラ・キシュ国際ピアノコンクール 課題曲

#### 委嘱作品 IMPROMPTUS FOR JULIUS AND JAPAN

マーティー・ホローシュは、詩人や作家の家族の中で1954年ブダペストに生まれました。彼は1980年にハンガリー国立リスト音楽院の作曲専攻を卒業しました。彼は室内楽を多く作曲していますが、オラトリオを含む交響曲や弦楽合奏他、合唱曲等、他の分野においても積極的に作曲しています。マーティー・ホローシュは、アメリカ、カナダ、フランスなど多くの国から作曲依頼を受けています。その中でも傑出しているのは、国連50周年記念のためのピアノ協奏曲をイギリスのオーケストラに献呈した事です。彼の作品はヨーロッパとアメリカで広く演奏されています。国際作曲家協会は、1986年にホローシュ氏のポートレートフィルムを作成しました。1992年、彼はハンガリーのラジオ放送の中でオーディエンス賞を受賞し、また1997年Erkel賞、1998年Béla Bartók-DittaPásztor賞、2004年László Lajtha賞、2006年Frigyes Juhász賞を受賞しています。1989年、最初の民間会社としてAkkord音楽出版社を設立し、1990年にフンガロトンの編集長に就任。彼は2006年から現在に至るまでハンガリー最大のレコード会社フンガロトン社の社長を務めています。1996年、1999年、2003年、2006年、2009年、2012年のハンガリーの作曲家協会の会長に選挙により選出されました。彼はハンガリーのセグドの街にある著作権とアーティストを保護するARTISJUSハンガリーと作曲家組合の役員です。彼は音楽雑誌やラジオ・テレビ番組の著者・コメンテーターとして精力的に活動しています。ホローシュと23の仲間たちというラジオ番組の対話のシリーズは出版され、好評を得ています。またその他の多くの著書は英語とハンガリー語で出版されています。特に彼の50歳の時に、CDとコラボレーションされた文章は特別であり、後世に残る偉大な業績です。

# 入賞者・本選曲リスト

## 【第7回】

2016年3月25日(金) 場所: 日暮里サニーホール コンサートサロン

### 【小学生部門】

第1位～第3位 該当者なし

### 【小学生高学年部門】

第1位～第2位 該当者なし  
第3位 高橋 花穂 Chopin/Impromptu Op. 29

### 【中学生部門】

第1位 竹内 佑有 Chopin/Barcarolle in F-Sharp major Op. 60  
第2位 塩崎 基央 Beethoven/Piano Sonata Nr. 23 f-moll Op. 57 1mov  
第3位 該当者なし  
審査員賞 鈴木 千尋 Beethoven/Piano Sonata Op. 7 No. 4 Es-Dur 1mov  
審査員賞 孫 美明希 Mendelssohn/Rondo Capriccioso

### 【高校生部門】

第1位 山北 響斗 Liszt/Années de Pèlerinage 6. Vallée D'Obermann  
第2位～第3位 該当者なし

### 【大学生部門】

第1位 高島 吉輝 Chopin/Ballade No. 4 Op. 52  
第1位 藤永 貴大 Prokofiev/Sonata for Piano No. 3 a-moll Op. 28  
第2位 高濱 莉乃 Chopin/Ballade No. 1 Op. 23  
第3位 ジュラ・キシユ賞 大月 綾子 Prokofiev/Piano Sonata No. 6 Op. 82 A-major 2、4mov

### 【一般部門】

第1位 該当者なし  
第2位 桑原 ひとみ Liszt/Totentanz  
第3位 該当者なし  
審査員賞 小林 萌里 Beethoven/Piano Sonata No. 32 c-moll Op. 111 1mov  
審査員賞 松崎 聖子 Scriabin/Sonata for Piano No. 9 Op. 68

### 【愛好者部門】

第1位 該当者なし  
第2位 八木 麻希 Poulenc/Les Soirees de Nazelles Prélude、I、II、III、VI  
第3位 天田 嵩人 Ravel/Scarbo  
第3位 藤永 光織 Ravel/Jeux d'eau E-Dur

## 総合統計

	【第6回】			【第7回】		
	参加者	予選通過者	通過率	参加者	予選通過者	通過率
小学生部門	8	6	75%	0	0	-
小学生高学年部門	7	6	86%	3	3	100%
中学生部門	9	7	78%	7	4	57%
高校生部門	5	5	100%	2	1	50%
大学生部門	8	6	75%	7	5	71%
一般部門	7	6	86%	4	3	75%
愛好者部門	0	0	-	3	3	100%
総数	44	36	82%	26	19	73%

# 第8回ジュラ・キシュ国際ピアノコンクール申込書

\*印の欄は記入しないこと

受付年月日 年 月 日

受付番号	*	参加部門 に○を付けて 下さい	小学生、小学生高学年、中学生、高校生 大学生、一般、愛好者
フリガナ			性別
ローマ字 氏名			男・女
生年月日	西暦	年 月 日	歳
現住所 〒	都 道 府 県	区 市 郡	TEL ( ) E-mail
学校名もしくは勤務先	年在学中		
予選希望会場 (いずれか希望の会場に○をつけて下さい) <b>大阪会場 ・ 沖縄会場 ・ 東京会場</b>			
予選曲／原語で記入 ※小学生、小学生高学年、中学生、高校生、愛好者の各部門の方は1曲のみ記入してください。 ※大学生、一般の各部門の方は2曲記入して下さい。 ※予選・本選ともに演奏分数も必ずお書き下さい。			
①	作曲者名 (演奏時間約 分)		
②	作曲者名 (演奏時間約 分)		
本選曲／原語で記入 作曲者名 (演奏時間約 分)			
演奏者音楽(学習)歴・出身学校名等			
これまでに師事された先生			
入賞歴等			

申込 確認印	経理	総務	事務長	発送	出演日 出演時刻	日 時 分
-----------	----	----	-----	----	-------------	-------